ふれあいネットワーク

社協むらかみ

第82号
令和３年12月15日発行

新しい言語を学びたい。

手話奉仕員養成講座（入門編）

令和３年度村上地域社会福祉大会表彰
～ 25名が表彰されました ～

10月26日に村上市役所本庁において、令和３年度村上地域社会福祉大会表彰式を開催しました。
「ふれあいフェステバル（村上地域社会福祉大会・福祉まつり）」が新型コロナウィルス感染症予防のため前年度に引き続き開催できませんでしたので、表彰式のみでの開催となりました。

被表彰者（敬称略）

●村上地域社会福祉大会実行委員会長表彰

〇民生委員児童委員
河内花子、渡邉太一

〇社会福祉施設・福祉団体等役員
佐藤秀明、大嶋芳美、佐藤俊樹
木ノ瀬里美、佐藤正幸、板垣孝一
髙橋滿、田巻清美、須貝滋子
田中恵子、渡邉淳子

〇心配ごと相談員　大滝ミチ子

〇ボランティア活動
小田興基、本間昭平、増田秋仲

●村上地域老人クラブ連合会長表彰
田島瑞訓、竹内民男、鈴木博、細野とく子、長谷部信子、高橋達男、菅原一男

●村上市身体障害者団体連合会長表彰　木村喜二

市民後見人養成講座開講中!!

今年で２回目となる市民後見人養成講座が７月２日に開講し、12名の方が受講しています。基礎講座（５回）では、市民後見人に求められる倫理や期待、成年後見制度の概要などを学びました。また、現在行われている実務講座（５回）と実地研修（２回）では、後見活動を行うための実務について学んでいます。これらすべての講座を修了すると、村上市の市民後見人として登録されます。

※市民後見人とは、家庭裁判所から成年後見人等として選任された一般市民のことです。認知症や障がいなどにより、判断能力が不十分な方の財産管理等を行います。専門職の後見人などとは別に、地域の身近な存在として本人の権利を守り、生活を支える市民後見人が注目されています。

ご近所活動を広めましょう！　“ご近所活動助成金”をご活用下さい

住民同士でお互いを気にかけ合い、困ったときにはお互いに助け合えるご近所にしませんか？
町内・集落での活動はもちろんですが、向こう三軒両隣で自然とそういった関係ができれば、いつまでも住み慣れたこの地で、安心して暮らしていける地域となるはずです。
社会福祉協議会では、そういった取組みを応援するため、「ご近所活動助成事業」を行っております。既にそういった活動をされているグループや町内・集落があれば、ぜひご活用ください。また相談や問い合わせもお気軽にどうぞお待ちしています。

地域福祉課　☎62-7757

10/20 多職種・異業種交流研修会

みんなで学ぶ、ひきこもりの基礎知識

村上市・村上市社会福祉協議会等が主催した「多職種・異業種交流研修会」が、10月20日に市民ふれあいセンターで開催されました。この交流研修会は、異なる専門性をもった多くの職種の方が集まり、共通認識や交流を深め、円滑な連携やネットワークを図ることを目的にしています。

今年のテーマは「みんなで知ろう！ひきこもり」、全国的にも様々な取組みや対応への関心が高いことから、59名という多くの参加がありました。長岡崇徳大学の斎藤まさ子教授の講演や新潟ねっとの村山賢代表の指導による事例検討グループワークが行われました。

参加者から「市内にこんなにたくさんの関係機関があると知った。」「連携の大切さを全体で共有することができた。」「様々な職種の考え方があるとわかった。」などの感想があり有意義な会となりました。

10/28 お互いさまだねっか講座

地域の担い手研修会

村上市互近所ささえ～る隊、村上市、村上市社会福祉協議会が主催して、10月28日に村上市民ふれあいセンターで、「お互いさまだねっか講座」を開催しました。

この講座は、村上市互近所ささえ～る隊の地域の担い手研修として、ご近所での助け合いを広めていくことを目的に開催したもので、市内から200名以上の参加がありました。

市内で行われている助け合いの活動紹介や河田珪子（支えあいのしくみづくりアドバイザー）様からは「お互いさまの地域づくり～助けてと言える地域をめざして～」と題して講話をしていただきました。「困った時、助けてと言える人？」「困った人がいたら助ける？」との河田氏の問いに会場は大きな拍手に包まれ、困った時はお互いさまの気持ちを持っている多くの人がいることをうれしく思いました。

第2期地域福祉活動計画

96団体から地域の課題等を聞き取りしました。

行政計画である地域福祉計画と一体的に策定を進めている地域福祉活動計画（民間計画）では、行政によるアンケートのほか、社会福祉協議会職員が市内96の福祉団体や住民の集いにおじゃまし、現在感じている地域の課題や展望などのご意見をお聴きしました。

それらを行政と一緒に課題の整理分類作業を行い、住民等の意見から積み上げた形で計画の目標～実際の取組プランといった体系図（案）を作成し11/25の策定委員会へお諮りしました。現在、この体系図（案）をもとに具体的な計画内容の素案を作成しています。

次回策定委員会には計画素案を審議していただく予定となっています。

一人暮らし等高齢者昼食会

孤独感の解消、互いの親睦を深めるために各地区で一人暮らしの方を対象にした昼食会を実施しました。

10/15㈮ 朝日地域

毎年２回行われていました「たっしゃだ会」も新型コロナウイルスの影響で昨年から１回の開催となりました。

今年は、時間を短縮し、昼食無しでお弁当持ち帰りの実施でしたが、参加者は45名、みなさん会える楽しみを待ち望んでいました。

参加した皆さんには、お話玉手箱の「さらやしきおきく」などの紙芝居、さざなみ軽音学部の「楽曲演奏」、ブレンドリーダーによる「アコースティックギター弾き語り」を鑑賞していただきました。懐かしき歌と生演奏に引き込まれ、昭和の歌を口ずさむ光景もあり、音楽の世界に酔いしれていました。

「紙芝居は何十年もみたことがないわ。」と笑顔。その後、みどりの里で買い物となりました。

（朝日支所）

11/2㈫ 山北地域

山形県沖地震のため、コロナ禍により２年連続で開催できず３年ぶりに民生委員児童委員の協力を得てゆり花会館で開催しました。山北地域には５地区があり、その中の２地区を対象として、高齢者33名の参加がありました。

今までと違い昼食会は行わず、お弁当の持ち帰りでしたが、多くの皆さんに参加していただきました。

当日は、健康講話（市保健師）とアトラクション（大正琴の演奏や踊り）を行いました。

帰りのマイクロバスの中では「良かった」という声が皆さんから聞こえてきました。久しぶりに楽しいひと時を過ごしていただけたことと思います。

（山北支所）

11/15㈪ 神林地域

「神林地区ふれあい昼食会」は、コロナ禍のため、昨年度に続き「昼食会」ではなく「集い」として開催しました。

「市外に出かけることや市内のイベントも集落の集まりも制限され、なかなか出る機会がなかった」と、約40名の皆さんが元気に顔を合せました。このような状況の中、誰もが関心を持つ「食」について楽しく学んでもらおうと‘誰でもできる地産地消’‘村上のおいしいお魚再発見’の出前講座を活用しました。

その後、自由に話ができる歓談の時間を設けましたが、帰りの時間が来ても名残惜しそうに話をする皆さんの姿が印象的でした。終わりにはこの事業に協力していただいている民生委員児童委員さんからユーモアを交えた激励のお言葉もあり、マスクをしていても皆さんの笑顔は輝いていました。持ち帰っていただいたお弁当もさぞおいしかったことでしょう。

（神林支所）

12/1㈬ 荒川地域

昨年はコロナ禍のため中止。２年目にしてやっと開催することができました。自粛生活が続く中、皆様が元気にお過ごしかと心配していましたが、寒い時期にも関わらず、45名もの参加がありました。「待ちわびていたよ」とお声を掛けて頂いたり、皆さんと会えることを待ち望んでいた昼食会でした。１時間少々ではありましたが、市保健師の「冬場の健康管理とフレイルについて」の講話、血圧測定や健康相談を行いました。また、ボランティアで地元の小川ミエさんによる「歌と人形の踊り」を披露頂き、皆さん可愛い人形に目を細め楽しい時間を過ごされていました。締めくくりの「頑張るゾウ!!」では、皆さん沢山の元気をもらって喜んでおられました。残念ながら、皆さんと一緒にお食事は出来ませんでしたが、お帰りにはお弁当を持って「楽しかった、元気もらったよ。」「ありがとう。」との声、笑顔の解散となりました。

（荒川支所）

デイサービスセンターの送迎車を活用しての朝日地域の移動支援実験

朝日地域の課題の１つに高齢者等の移動困難（目的地までの交通手段）があります。朝日地域の団体や朝日地域住民で移動支援実験を行いながら、その課題の解決に取り組んでいます。

移動支援実験として、秋晴れの11月５日㈮、あさひ互近所ささえ～る隊と運転ボランティアで、愛ランドあさひが実施する介護予防教室の送迎とイオン村上東店までの買い物への送迎を行いました。

送迎を通して、参加者は迎えに来てもらって「ありがたい」と車中で話されていました。

この移動支援を今年度は４回実施する予定ですが、社会福祉協議会（さわらびセンター、デイサービス長津）と羽衣園では、この移動支援の送迎車として車両を提供します。

このように社会福祉協議会のデイサービスセンターでは、地域の介護サービスを提供するほか、デイサービスセンター車両を提供するなど、地域貢献にも取り組んでおります。

一人で学ぶより…。[ゆり花会館 パソコン教室]

山北地域のゆり花会館で11月9日と10日の2日間、初心者を対象にしたパソコン教室を開催しました。

パソコンが初めての方など３名が受講し、パソコンの基本操作から、ワードやエクセルの基本操作などを学びました。

参加者は「自宅では1人なので教わることができず進まなかったが、わからないことを教えていただくことができて、この教室に参加してよかった。」「次回もあったら参加したい。」とおっしゃっていました。

たくさんの善意をありがとうございました

（令和３年７月21日～11月20日）

【寄付金】

塚田文也　様	4,000円	中山勝男　様	117,488円	山本　様	1,000円
関口老人クラブ福寿会　様	9,500円	匿名希望　様	9,153円		

【寄付物品】

藤田美佐子　様	介護用電動ベッド・車イス	明治安田生命　様	古タオル・ウエス
石原の茶の間　様	雑巾	瀬賀弘子・貝沼昭子　様	タオル・バスタオル
青山孝子　様	オムツ・パッド・シート	坂町郵便局　様	古切手
小野寅次　様	電動ベッド	髪ingコンドウ　様	シャンプー
島田金幸　様	マスク２箱	中村美恵子　様	パジャマ
増田秋仲　様	米1,150kg	㈱日本海ハウス　様	米30kg
菅原健一　様	紙おむつ、尿取りパット、ティッシュペーパー		
本間農機　様	車いす１台、滑り止めマット		
㈱第四北越銀行山北支店　様	チューリップ球根50球		
(一社)いわふね青年会議所　様	消毒液７本、手袋３箱、除菌シート３箱、マスク１箱、台ふきん２箱		
匿名希望　様	ふきふき布 他		

(一社)いわふね青年会議所様より

村上おもちゃの病院

12月・1月の開院日

12月25日(土)

1月22日(土)

場所：クリエート村上

時間：午前９時～11時30分

■問い合わせ　地域福祉課　☎62－7757

受賞おめでとうございます

全国社会福祉協議会会長表彰

○民生委員児童委員功労

渡辺　幸子　様

村上市社会福祉協議会賛助会員（事業者）一覧

会費納入にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

◆村上支所

㈲とがし商店　様

◆荒川支所

㈱三津和　様

村上市身体障害者団体連合会 荒川支部　様

◆朝日支所

㈱大場工務店　様

◆山北支所

本間建設㈱山北営業所　様

シリーズ♥つながり TSUNAGARI

皆さんがつくりあげてきた地域の茶の間や様々な形の居場所をシリーズで紹介します。

一年ぶりの開催に喜ぶ
～塩野町（朝日地域）の茶の間～

一年ぶりの茶の間の開催に、ちょっとおしゃれをして集まってきた20人の皆さん。

「また始まってよかった！」「どっこも出かけらんねかったんがね」「顔見てるだけで元気が出る」と今日の日を本当に楽しみにしていたことが伝わってきました。

愛ランドあさひの“元気アップ体操”では、なまった体を少しづつほぐしながら満面の笑顔と会話が飛び交いました。頭の体操やゲームに紙芝居、そして久しぶりのおしゃべりは何よりの「介護予防」になったのではないでしょうか。

ささやかで、緩やかな地域の茶の間は、人と人がつながり、人と社会がつながる、そして、お互いを気にかけあう人間関係が生まれ、その地域に暮らし続ける安心感を得ることができます。それは、日常生活の中での張り合いとなり、ひいては健康で長生きするために大切なつながりとなります。

一年ぶりの開催に尽力されたお世話係の皆さんが、「こんな時だからこそ、決してつながりを切らさない工夫をしながら続けていきたい」と話されていました。そして、終了後は「気いつけて、転ぶなよ」「また会おてね」と声をかけ合いながら帰られる姿に、コロナのマスクを外せる終息を願わずにいられませんでした。

（地域福祉課）

表紙説明

９月より実施していた手話奉仕員養成講座の入門課程（全24講座）では、約２カ月に及ぶ講座を終え受講生11名が無事修了されました。初めて手話に接する方が多い中、講師の方々と一緒に楽しみながら真剣に学び、回を重ねるごとに目を見張る上達ぶりでした。受講生の方々からは、「目の動きや顔の表情の大切さが難しかったが、みんなで助け合いながら毎回楽しく受講できた」「バリアフリーなど、日頃深く考えたことがないことにも関心を持つことができた」「もっと聾者の方と手話をしたい」などの感想をいただきました。

社会福祉協議会では、今後も長期の養成講座だけでなく興味・関心を持ってもらう短期の講座を検討しています。ぜひご参加ください。（地域福祉課）

笑顔とおもてなし

社協の介護事業所をシリーズで紹介

季節に合わせた入浴剤、行事や記念撮影など楽しい時間を

訪問入浴むらかみ

私たちは、移動入浴車でご自宅を訪問し、お部屋の中で入浴していただく介護サービスを行っています。

体のどこかが痛い方、体が動かせない方、外出できない方、最期までご自宅で過ごしたい方など、多いときは１日７人のご利用者様に、１回約１時間弱ご利用いただいています。１回の入浴ごとに毎回洗浄・消毒するなど、感染症対策を行っていますので、安心してご利用いただけます。

ご利用者様より「定期的に利用することで生活にメリハリや習慣ができる。」「退院後、一人では怖くて動けなかったが、入浴ができて自信がつき、体調や体の動きが日に日に回復する。」「お風呂が楽しみ」「今日もお風呂に入って良かった」とお聞きすると、私たちスタッフも同じように「良かった」と安堵し、やりがいを感じます。

季節に合わせた入浴剤を使ったり、行事や記念撮影をしたりして、ご利用者様と楽しい時間を過ごすこともあります。

また、バスタオル類の無料貸し出し、シーツ交換・無料貸し出しも行っていますので、お洗濯の心配も軽減されます。

皆様のご利用をお待ちしています。

（管理者）

社協むらかみは、資源保護のため古紙配合率70%再生紙と環境にやさしい大豆油インクを使用しています

この広報誌は、赤い羽根共同募金配分金を受けて発行しています。

編集・発行　社会福祉法人　村上市社会福祉協議会
〒958－8501　新潟県村上市三之町１番１号
TEL（0254）53－3467　FAX（0254）50－0020
E-mail：syakyo.murakami@helen.ocn.ne.jp
ホームページ：http://www.murakamisyakyou.com/
社協むらかみ　検索